

◆緊急経済対策について  
 問 補正予算の10億円を超える緊急経済対策を評価する。追加措置等について、見解を。  
 区長 対策の実施状況を十分検証し適切な対応を検討する。  
 ◆財調と財政運営について  
 問 ①法人税収が減収傾向にある。本年度の都区財政調整の算定結果をどのように捉えているのか。②財調交付金の縮減が予想されるが来年度予算編成の方向性は。③財政規律の確保について考えを聞く。  
 区長 ①当初算定では今年度がピークとなる可能性が高い。②特定財源の確保と基金活用も視野に入れ、経費の効率化を進める。③起債残高と基金との差額解消に取り組む。

◆都市農地の保全について  
 問 ①生産緑地制度などの国の制度改正に向けた自治体の連携組織づくりの状況は。②制度改正に向け、国へ行動を。  
 区長 ①都内34自治体で組織を設立する。②見直しを実現

◆区民の生活を守る 緊急経済対策を！  
 練馬区議会自由民主党 本橋正寿  
 問 英語活動、中学校での武道必修化等への対応は。所見を。  
 教育長 実験機器を整備し、外国語活動モデル校を指定。武道連盟等との連携を深める。  
 ◆小中一貫教育校について  
 問 ①平成23年4月の開校を

◆区民の生活を守る 緊急経済対策を！  
 練馬区議会自由民主党 宮原義彦  
 問 ①区民の生活を守る。②農産物を利用した練馬ブランドの開発を。③農商連携による地域活性化を。  
 区長 ①国は経済対策を早急に実施すべき。区も必要な対策を時機を逸せず実施する。②水害対策工事を進め、改修の早期完成を都に要望する。  
 ◆9月補正予算と19年度決算  
 問 ①補正予算の重点施策は。②財調交付金の見込みと今後の対応は。③区債発行と基金積み立ての目標額の設定を。  
 区長 ①緊急経済対策や妊婦健康診査の回数増。②減少する見込み。財源の確保や経費見直しに取り組む。③提案を踏まえ検討する。④作成に着手する。⑤課題を精査する。

◆緊急総合対策で 区民生活を守れ！  
 練馬区議会自由民主党 宮原義彦  
 問 ①区民の生活を守る。②観光協会や農協の取り組みを支援。③異業種交流による商品開発の支援等で推進する。④積極的に研究。  
 ◆まちづくりについて  
 問 ①石神井公園駅の仮設改札と地下通路、エレベーター設置の進捗状況は。②高架下利用は自転車駐車場等の設置を。③石神井公園駅北口バス

◆区長公約・マニフェスト  
 問 ①達成状況公表、更新を。  
 区長 ①公約は有権者の判断に委ねることを目指したものに。②行政評価にはなじまない。  
 ◆財政・人事に関連して  
 問 ①インセンティブ予算枠は政策経費のみ使途に。②経営課の参画を。③部所連携を評価へ。④派遣復帰後の職員活用は。⑤職員派遣の課題は。  
 企画 ①財政効果と事業の関連を明確にする。②選択肢の一つとして検討。③活用を努める。総務 ④中枢を担う。⑤派遣先の受入条件の整備等。



◆産業振興に関連して  
 問 ①中小企業振興策の検証を。②企業誘致で地域参画を。③行政課題解決策を民間から。  
 健康福祉 ①診療報酬等。②見直しを求める。③本年度中に基礎調査。④部所連携に努め慎重に検討。⑤啓発に努力。  
 ◆農業振興に関連して  
 問 ①中産業者の育成を。②環境に配慮した農業を。③農産物の加工・販売を。④農産物の消費促進を。⑤農産物の輸出促進を。  
 環境 ①CO2の緑化吸収と排出増加の見込みは。②区主体でカーボンオフセット導入を。③リサイクルの回収拠点増を。④紙製容器包装の分別向上を。⑤可燃ごみの排出エックを。  
 福祉に關連して  
 問 ①医師・看護師不足の原因は。②区を独立の医療圏に。③医療施設等の偏在度調査を。今後検討。④増設する。④周  
 ◆環境に關連して  
 問 ①CO2の緑化吸収と排出増加の見込みは。②区主体でカーボンオフセット導入を。③リサイクルの回収拠点増を。④紙製容器包装の分別向上を。⑤可燃ごみの排出エックを。  
 環境まち ①吸収量の試算方法を検討。1%以上抑制。②今後検討。③増設する。④周  
 ◆区政情報の発信について  
 問 ①区ホームページが抱える課題の解決への取り組みは。②外国人向けの情報発信について認識は。③区ホームページへのパナー広告掲載は。  
 区長室長 ①22年度に全面的にリニューアルを実施する。②今年度中に一部発信を開始。③掲載場所などを検討する。  
 ◆アニメの活用について  
 問 ①区内アニメ産業の発展支援への決意は。②(仮称)練馬区地域共存型アニメ産業集積活性化計画の狙いは。③フランス・アヌシー市からの産業交流の要請についての

平成20年第三回定例会の一般質問は、9月18日・19日・22日の3日間、11名の議員が行いました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載しています。全文は1か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所東庁舎3階)、区議会ホームページで閲覧できます。また、区議会ホームページでは録画映像もご覧いただけます。

◆安心して産み育てる環境を  
 ①妊婦健診14回分の助成を評価。今後も区民本位の政策を。②ヒトT細胞白血病ウイルス1型の抗体検査を。③歯科健診を妊婦健診に追加せよ。④助産所と二次医療機関の連携を。⑤子育てスタート応援券を母乳育児支援事業にも拡充を。⑥妊婦の水中毒歩指導を。⑦Hi-bワクチン等任意予防接種の公費負担を。

◆区長 ①今後も区民福祉の向上に全力で取り組む。健康  
 ②区独自の追加は困難。健診項目を協議する際、反映に努める。③総合的な母子保健対策の中で検討。④今後の課題。⑤可能性を調査。⑥場の提供を含め検討。⑦今後検討する。

◆生活習慣病対策について  
 ①健康づくり協力店で練馬野菜を利用したヘルシーメニューを開発し「外食健康

◆住民税の負担について  
 生活保護基準より低い所得者への減免制度の創設を。現行制度に減免規定があり、新設の必要性は乏しい。

◆生活保護の受理について  
 生活保護申請者には、憲法25条の立場で対応を。福祉 適切に保護の申請受理をしている。

◆新基本構想策定について  
 新基本構想は、憲法をくらしに生かし、住民自治を確立させる理念の継承発展を。

◆日米軍事演習の中止を  
 朝霞の「やまざくら55」演習の中止を国に求めよ。

◆07年度決算について  
 ①112億円の黒字は、くら

◆子どもを安心して産み育てる環境を！  
 練馬区議会公明党 吉田 ゆいり

推進運動」を。②禁煙・分煙飲食店の登録制度を。区の推進目標を設定しステッカーの公募を。③禁煙治療に助成を。健康 ①現行の協力店制度の充実を図っていく。②検討を進めたい。③より効果的な禁煙

◆古紙回収の罰則規定  
 ①古紙回収の行政が担う役割は。②条例を改正し罰則規定を盛り込むべき。③罰則に窃盗罪を検討せよ。所見を。環境まち ①古紙相場の変動に関わらず実施でき、区民のリサイクル意識の醸成を図れる。②罰則等の適用を視野に

◆プラスチック焼却について  
 焼却は循環型社会の方向に逆行する。直ちに中止を。環境まち 考えていない。容器包装プラは資源として回収

◆周辺住民の58%が広

◆子どもを安心して産み育てる環境を！  
 練馬区議会公明党 吉田 ゆいり

◆子どもを安心して産み育てる環境を！  
 練馬区議会公明党 吉田 ゆいり

◆子ども農山漁村交流体験学習  
 ①交流プロジェクトを中長期計画に盛り込み実施を。②練馬の農業、観光との相互交流を。③体制整備型受け入れモデル地域の調査研究を。④夏休みに区内小学校5・6年生を対象に公募で農山漁村体験学習を。⑤不登校対策・二対一対策として山村留学の紹介の後押しを。教育長 ①可能性を検討する。②関係部課と連携し取り組む課題と認識。③モデル地域等を調査研究し検討する。④区外型ねりまスクールを充実させる。⑤調査し成果を研究。

◆新基本構想について  
 ①新たな課題について新基本構想に盛り込むべき。対応は。②区民の意見を反映させる方策は。③策定過程において地区懇談会や団体ヒアリングを行うべきでは。④単なるスローガンではなく、練馬の歴史、文化、特色を最大限に生かすべき。所見を。区長 ①審議会の「中間まとめ」で一定の方向性が示される。②随時審議会に報告。③審議会と区民との意見交換会を開催する。④70万区民の夢や願いを集約し区の個性や特色を生かす将来像を描く。

◆行政改革について  
 ①職員数削減について、今後の見通しを。②委託を受けた事業者の管理・監督者としての役割を果たす職員の質の向上が重要と考えるが。③総合的人事考課制度について、昨年の運用結果を踏まえた課題と方向性は。職員の育成能力開発に向けた強化策は。区長 ①行政改革推進プランに掲げた削減目標を着実に達成する。②職員に徹底を図り責任を果たすよう自覚を求め、効果的な手法を取り入れ、取納率の向上を図った。④4億円超の増収となり自主財源の確保に寄与。更なる取納強化

◆自治基本条例について  
 ①自治基本条例を制定する方針に変更はないか。目標通り22年度内の制定は可能か。②新基本構想の作成と並行して検討されるべきでは。③長期計画の策定過程へ区民参加

◆区民生活  
 ①取納率の低下は、区民の信頼を損ねる。効率的、効果的な手法を取り入れ、取納率の向上を図った。④4億円超の増収となり自主財源の確保に寄与。更なる取納強化

◆自治基本条例について  
 ①自治基本条例を制定する方針に変更はないか。目標通り22年度内の制定は可能か。②新基本構想の作成と並行して検討されるべきでは。③長期計画の策定過程へ区民参加

◆区民生活  
 ①取納率の低下は、区民の信頼を損ねる。効率的、効果的な手法を取り入れ、取納率の向上を図った。④4億円超の増収となり自主財源の確保に寄与。更なる取納強化



※ゲートキーパー：うつ・自殺の基本的知識を有し、相談業務等を通じて相手の心身不調に気づき、必要に応じて相談機関等につなぎ、協働して取り組む人材のこと。

◆笑いの力の活用について

①児童虐待予防の「青い森のほほえみプロジェクト」を参考にし「笑いを取り入れた新たな健康事業の推進を」

◆地上デジタル放送について

①高齢者や障害者の低所得者を対象にした「地デジ」移行の支援策を。②アナログテレビを処分する際の、粗大ごみや不法投棄の対策は。

◆区長の基本姿勢について

①自治基本条例策定を公約に掲げた思いは。②協働における区の役割は何か。実態把握と指針策定は。③区民表彰制度は自治に反する。廃止せよ。④非核都市練馬の長として世界に核廃絶を訴えよ。

◆子ども議会について

①国に法改正、都に経費の都区財調措置を要望。②金属類の回収等を検討する。

◆子ども議会について

①イベント化せず、運営

◆子ども議会について

①国に法改正、都に経費の都区財調措置を要望。②金属類の回収等を検討する。

◆自転車対策について

①区民交通安全講習会に加害者保険の付加を求める。②自転車安全講習会の周知徹底を。③都道補助172号線に自転車走行レーンの設置を。④光が丘第二自転車駐車場の効率

◆課題浮かぶ「委託化」

①委託保育園では法人管理費が2千万円を超える園もその主な使途は。②委託事業者の行う契約に、区のルールは適用されるのか。③不安定雇用の拡大に歯止めを。④課題を検証し、「委託化」に

◆児童青少年

①本部の人員費や事務所運営費等。年度末に清算し適切に管理。

◆重度障害者の命を支えよ

①委託しても職員は採用する。採用数、年齢は不明であり、推計は困難。②平均人件費の見込みも困難。③財政効果についての指摘は当たらない。

◆介護労働者への支援、再

①委託しても職員は採用する。採用数、年齢は不明であり、推計は困難。②平均人件費の見込みも困難。③財政効果についての指摘は当たらない。

◆学童クラブの水準を落とすな

①委託しても職員は採用する。採用数、年齢は不明であり、推計は困難。②平均人件費の見込みも困難。③財政効果についての指摘は当たらない。

笑いの力を活用し 笑顔あふれる励ましのに

練馬区議会公明党 酒井 妙子

①国の対応を注視し、他自治体の動向の情報把握に努める。②国の取り組みを見据え、区民への情報提供に努める。③今後調査を実施し、適切な対応を図る。④講座の

◆うつ病対策について

①認知行動療法の導入を。②子どものうつ病に対して、家族をサポートするセミナーの開催を。③相談体制の強化、充実のために積極的にゲートキーパー養成の取り組みを。

◆子ども主体で

①日常的に意見表明や議論の場を保障し、教育委員会との連携強化を。

◆健康福祉

①子どもたち自身が主体的に運営に関わり実施している。②子どもの視点に立ち、区全体で取り組む。

◆小中学校の統廃合について

①児童への説明責任を果たし、課題解決できなければ4校同時の開校にこだわるなど、学区の変更に適正規模から見直すべき。考えを伺う。

自治する生活者の輪を広げよう

生活者ネットワーク 吉川 みさ子

①予防事業の低利用を分析し、制度見直しを国に求め、主体性を大切にした事業を第四期計画に反映させよ。②介護保険制度本来の理念で高齢者の生活を支えよ。

◆環境まち

①総合治水計画で安全性の確保を図る。②施策の効果を踏まえ研究していく。

区政を問う

一般質問(要旨)

◆環境まち

①区民意見反映制度や説明会により幅広く意見を頂く。②環境への取り組みを先導する計画づくりを進める。

◆水循環について

①治水事業には水循環の視点で取り組む。②生命を維持する水資源として、地下水・湧水保全条例の策定を。

目先の経費より、暮らしと未来支える区政を

市民の声ねりま 池尻 成一

①委託により保育士の年齢構成はどう変わるか。②新規採用による若返りで直営園運営費は下がるのでは。③区計画の策定の中で、総合的な

◆清掃計画の見直しを早急に

①各区の理計画の見直しは、①各区のごみ減量計画を適切に反映させること。②資源化施設の整備を23区共同で進めていくこと。③各区、区民も参加したオープンな場で進めること。

◆環境まち

①統一基準がなく難しい。現状を踏まえ適切なごみ量を推計。②状況が一律でない。一部事務組合の事業への関わりは課題。③今後、一部事務組合で検討すべき。

常任委員会の行政視察

練馬区議会では、今後の行政施策の参考とするため、各都市への視察を行いました。

委員会名	視察日	視察先	視察目的
企画総務委員会	10月30日 ～ 10月31日	岡山県倉敷市 岡山県岡山市	・コールセンターの運営とメディア広報について ・多文化共生と国際交流活動について
区民生活委員会	10月28日 ～ 10月30日	島根県出雲市 島根県松江市 鳥取県境港市	・アグリビジネススクールについて ・オープンソーラボについて ・総合窓口センターおよびフロアマネージャーについて ・水木しげるロード周辺の商店街の再生について
健康福祉委員会	10月29日 ～ 10月30日	大阪市吹田市 兵庫県宝塚市	・障害者支援交流について ・子育て支援および世代間交流事業について
環境まちづくり委員会	10月30日 ～ 10月31日	北海道札幌市 北海道小樽市	・自転車道路(陽だまりロード)について ・歴史的資源を活かしたまちづくりについて
文教委員会	10月30日 ～ 10月31日	奈良県奈良市 京都府京都市	・小中一貫教育について ・京都国際マンガミュージアムの運営について

平成20年第三回定例会の一般質問は、9月18日・19日・22日の3日間、11名の議員が行いました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載しています。全文は1か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所東庁舎3階)、区議会ホームページで閲覧できます。また、区議会ホームページでは録画映像もご覧いただけます。